

## 研究指導の概要

### ■ 国際公共政策学位プログラム

【課程：博士前期課程】

学年	学期	研究内容及び指導方法等：（ ）内は対応する授業科目等
1 年 次	春	A 研究倫理を踏まえ、研究関心や着想を修士論文に向けたテーマ設定に結び付け、かつ、自立的に研究プロセスを管理する能力及びリサーチデザイン能力の育成を図る。また、指導教員をはじめとする各担当教員による幅広い指導を受け、各自の研究関心や着想に基づいて、修士論文構想の作成を進める。（研究群共通科目「研究法入門」、学位プログラム各専門基礎科目、専門科目、演習科目）
		B 同 上
		C 2年次生による修士論文中間発表〔9月末：夏季休業期間中〕への参加、達成度評価
	秋	A 研究倫理を踏まえ、研究関心や着想を修士論文に向けたテーマ設定に結び付け、かつ、自立的に研究プロセスを管理する能力及びリサーチデザイン能力の育成を図る。また、指導教員をはじめとする各担当教員による幅広い指導を継続的に受け、各自の研究関心や着想を深化させるとともに、修士論文構想を作成する。（研究群共通科目「研究法入門」、学位プログラム各専門基礎科目、専門科目、演習科目）
		B 同 上
		C 2年次生による修士論文最終口述試験〔1月末：公開形式〕への参加、修士論文構想発表会〔2月中旬：国際公共政策学位プログラム主催〕への参加、修士論文合同演習〔2月末：人文社会科学研究群主催〕への参加（「修士論文合同演習」）、達成度評価
2 年 次	春	A 研究倫理を踏まえ、研究関心や着想を修士論文のテーマ設定に結び付け、かつ、自立的に研究プロセスを管理する能力及びリサーチデザイン能力の深化を図る。また、指導教員による専門的な指導を受け、各自の研究活動に基づいて、修士論文の作成を進める。（「国際公共政策リサーチ・ワークショップA」、学位プログラム各専門科目、演習科目）
		B 同 上
		C 修士論文中間発表〔9月末：夏季休業期間中〕への参加、達成度評価
	秋	A 研究倫理を踏まえ、研究関心や着想を修士論文のテーマ設定に結び付け、かつ、自立的に研究プロセスを管理する能力及びリサーチデザイン能力の深化を図る。また、指導教員による専門的な指導を継続的に受け、各自の研究活動を深化させるとともに、修士論文を作成する。（「国際公共政策リサーチ・ワークショップB」、学位プログラム各専門科目、演習科目）
		B 同 上
		C 修士論文最終口述試験〔1月末：公開形式〕への参加、1年次生による修士論文構想発表会〔2月中旬：国際公共政策学位プログラム主催〕への参加、修士論文合同演習〔2月末：人文社会科学研究群主催〕への参加、達成度評価